

リュウキュウツワブキ

じゅんげつめつ きく
準絶滅危惧

学名 Farfugium japonicum var. luchuense

科名 キク

別名

区分 そうほんるい
草本類

分布 あま み おおしま おきなわほんとう いしがきじま
奄美大島、沖縄本島、石垣島、
西表島

葉の形 おうぎがた
扇形

葉の縁 きよし
鋸歯

葉の先

葉の種類 たんよう
単葉

葉の付方

葉の基部 くさび形、切形

実の種類 そう果

花・萼色 きいろ
黄色



普通ふつうのツワブキの変種へんしゆで、山地さんちの溪流けいりゆう沿いそに生え、
高さ 30-80 cm の多年生たかねせいの草本そうほんです。葉は光沢こうたくがあり、
葉の縁ふちは鋸歯きよしが鋭く尖りすどとが、溪流けいりゆうに生える種しゆの基部きぶは
くさび形がたで狭く、溪流せまく以外けいりゆうでは基部いがいが切形きぶで広くなつ
ています。花は黄色はなで林内きいろではよく目立りんないちます。

説
明